

旭川医科大学病院における R-SUDの採用とSUD収集について

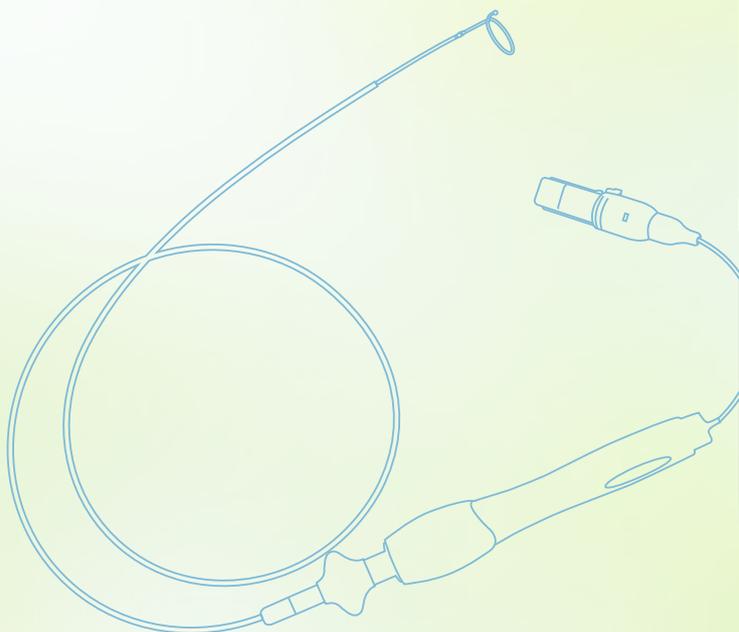
2024年5月18日(土)13:35～14:35 スイーツセミナー2
フェニックス・プラザ 地下大会議室 (B1F) (福井市田原1丁目13番6号)

昨今、医療材料や光熱水料の高騰等により、病院の経営は非常に苦しい状況にある。使用済み単回使用医療機器 (SUD) の収集や再製造単回使用医療機器 (R-SUD) の活用は、その解決の一助になるものと期待が寄せられている。さらに、資源の有効活用の観点から、SDGsの取組 (つくる責任、つかう責任) としても非常に重要である。

当施設では、R-SUDの採用及びSUDの収集を早期に決定し、病院全体の取り組みとして位置付けた。血管造影室でのカテーテルから始まり、手術室でのエネルギーデバイス、病棟でのSpO2センサーと院内の複数部署にて収集を実施しており、順調に取り組みが拡大している。

働き方改革や働き手の不足等により更なる業務の効率化が求められるなか、収集によって業務量が増えてしまう事も、全国の施設にて本取り組みが普及しない原因となっているが、令和6年度診療報酬改定において、R-SUDの使用を推進する観点から、R-SUDの使用実績を有する医療機関にて、手術におけるR-SUDの使用について新たな加算が設けられることとなった。

これに伴い、更にR-SUDに対する関心が高まる事から、当施設における収集決定までの道のりや現場への周知方法、工夫した点・苦慮した点、R-SUDの使用実績やSUDの収集実績などを伝えることで、R-SUDの採用やSUDを収集する施設がさらに増える事を期待する。



座長 上塚 芳郎 先生

前東京女子医科大学教授 /
一般財団法人 松本記念財団 顧問



演者 橋場 哲也 先生

国立大学法人 旭川医科大学
医療支援課入院係

平成15年 旭川医科大学病院業務部医事課収納係に採用
平成19年 医療支援課外来係に異動
平成22年 診療情報管理士の資格取得
平成24年 医療支援課入院係に異動 (主任)
平成26年 会計課医療物品係に異動 (平成28年より係長)
令和3年 医療支援課入院係に異動 (係長)